

環境に配慮した建築物

## 江戸川台の家

建築主：野崎 恵太  
設計：(有)HAN環境・建築設計事務所  
施工：藤原工務店

所在地：流山市東深井892-34

一見なんの変哲もないような家に見えるが、近づくにつれ、内部に入るにつれ、様々な仕掛けがあることがわかってくる。

建物自体は居住部分のほとんどを2階に持ち上げ、1階には小さな居室が1室あるのみである。

1階部分はコンクリート構造であるが、床・壁・天井などの仕上げ材には各種の自然素材が用いられている。2階の居室部分は空間構成が大胆である。わずか2室しかない。外断熱工法の採用で、木造軸組の架構を内部に露出させ、高さと感じさせさせている。一方、開口部は木製の3重ガラスのサッシになっており、簡素な仕上げが多い中で、ここだけことの外、頑丈なつくりになっている。また、2階床スラブに外断熱を施した蓄熱層が設けてあるとのことであり、訪れた日は真冬の日中であったが、太陽の日差しをダイレクトに受け、ちょうど心地よい暖かさに充たされていた。

建て主のシンプルな生活スタイルと自然への接し方の姿勢と、設計者の考え方がうまくあいまって、



2階の居間 (撮影：坂口裕康)

この建物が実現したといえよう。

ただし、今だけでこの建物を判断せずに、住み手の子供の成長などにつれて、この住まいがどのように変化していけるのか見守りたいと思う。

(園田真理子)

環境に配慮した建築物

## 千葉トヨタ自動車(株)千葉ニュータウン店

建築主：千葉トヨタ自動車(株)  
設計：鹿島建設株式会社  
施工：鹿島建設(株)東京支店

所在地：印西市西の原4-1

本作品は「有期限建築」を標榜する自動車販売用の商業施設である。その名称からは、一見いわゆる「持続可能な建築」と相対するかに思える。しかし、特に商業施設のような使用・改修サイクルの比較的短い用途の建築に対しては、単なる長寿命化を追求するだけでは現実的とはいえない。むしろ、その短期の需要の変化にしなやかに対応できるローコストな建築構法の開発とその応用という選択肢が不可欠である。

設計者はそうした視点を基本に置き、高度にシステム化されたフレキシビリティに主眼をおいた建築躯体や部材の長寿命化に加えて、省エネルギー、エコマテリアル、現場廃棄物削減、地域環境との調和のテーマに従った数々の技術的工夫を適用している。

特筆すべきは、そうした複合的な提案を厳しいコスト管理を経ても(従来の約30%減少)なお一つの建築作品としてまとめ上げた点、そして今後の環境に配慮した商業施設のあり方に具体的な



建物夕景 (提供：鹿島建設)

筋道を見せた点にある。

環境部門の性質上、事後の検証が不可欠である。それとともに、こうした試みのさらなる展開への期待感をこめて、建築文化奨励賞が贈られた。

(岩村和夫)